

引出しの中

引出しの下段

とどかないままにた

いさひよつとしてとどかないと思つた

とどいた引出しを引ける書きい

きりしりつまつている

そつだこれをかたがけよくがそつがいの

元はづけたすかりつかれてしまつた

書きいたかかれています名前を消すのた

つてべとがかすれて出なくなつた

書きいひ消してすてもなくなつた紙の量

かみとをぼける部あつた表紙まつたい

かみとを思い存火うとず入れに入れたい

とにかく目の前の紙の量をへらしたい

三時内ほどかかつて終るやれやれ

どうしてこんなにはたのか

引出したとどかつかうたい

書きいの中かみずうしいものを見つけた

愛知県犬山市丹羽郡はぐろニ一三

これは本籍籍だ

都名エ崎玉の太宮とうつしてかう

すつかり 御無沙汰していた

父はここぞと金まわらぬと思う

父がよくうたっていた

夕空はれり 秋回ふさ ー ー ー

思えば遠し 故郷の空

母も父もいかにかわり

いくつになっても 子供のころか少すれま

かつた と思う

行く年々のは かなりの昔だ

はからずも 引出しをかたがけとし

父を思い出した

2023
2/7